

しやきょう第3号

“地域に信頼され 安心を提供できる 社協を目指して”

発行元 社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

発行日 平成25年 6月25日

社会福祉協議会では、任期满了に伴う役員改選が行われ新しい役員体制の下、社協ビジョンである“地域に信頼され 安心を提供できる 社協を目指して”平成25年度をスタートいたしました。

《役員紹介》 H25,06,01 現在

(敬称略)

会長	竿田 富夫	有識者	評 議 員			
副会長	長田 榮利	有識者	伊集院周克	区長会代表	榮 富 弘	民児協代表
理事	名島 勝一	施設代表	大屋 富茂	区長会代表	中村スエ	長寿クラブ代表
理事	長田 隆一	教育委員代表	榮 末 雄	区長会代表	村田 行夫	障害者団体代表
理事	川村 秀文	区長会代表	有川 健志	区長会代表	外山 恵美子	母子会代表
理事	盛 泰 夫	有識者	村吉 政秋	農協代表	佐々木よし子	保護司会代表
理事	種子島公彦	行政代表	南 好 二	商工会代表	吉 峯 実 文	遺族会代表
監事	上原 清	有識者	葉棚 美津乃	女性団体代表	葉棚 文 雄	行政代表
監事	松下 元文	有識者	安 徳 建 二	NPO代表	理事7名、監事2名、評議員15名	
第三者委員	永井 一夫	民生委員	中屋 吉右	福祉行政経験者	今井フサ子	学識経験者

《職員状況》

事務局	高齢者福祉部門	障害福祉部門	児童福祉部門	合計
7名	32名	12名	33名	84名

～町民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します～

I 平成24年度の主な社協活動（地域福祉活動）の実績について

①相談・支援事業

高齢者関係	障害者関係	児童関係	その他	合計
137件	46件	68件	25件	276件

②福祉サービス利用支援事業（契約件数24件）

相談支援	金銭管理	各種手続き	書類等預り	合計
725件	661件	31件	14件	1431件

※判断能力に不安のある方の日常生活を支援する事業です。

③福祉機器リサイクル（貸出）事業（貸付件数：15件）

④シニアはつらつ（脳トレ）教室開催事業

○教室開催数：49回（延利用者数：1040名）

○学習サポーター派遣（延参加者数：327名）

※シニアはつらつ倶楽部・毎月1回わどまり保育園での交流活動（延参加者数：94名）

- ⑤暮らし安心・地域支え合い推進事業（コーディネーター1名配置）
 - 支え合いマップ作成支援（2回、延参加人数：33名）
 - 住民座談会（8回、延参加人数：157名）
 - ふれあい・いきいきサロンリーダー養成研修会（40名）
 - 生活支援サポーター養成講座（39名）・懇談会（6回、延参加人数：63名）
- ⑥生活支援サービス「あぐネット」事業（7月開始）
 - 生活支援サポーター会員：16名、利用会員：27名
 - 活動件数：40件、派遣人数：64名
- ⑦訪問介護員養成研修（2級課程）・・・資格取得者：15名（136時間）
- ⑧ボランティアセンター運営事業
 - 相談件数：77件、斡旋件数：70件、登録者数：520名
 - ボランティアスクール・講座（17回、延参加人数：407名）
 - 社協主催ボランティア活動（52回、延参加者数：490名）
- ⑨赤い羽根共同募金事業（募金総額：1,469,347円）
- ⑩赤十字活動（災害救援物資配布：49件、災害見舞金配布：50件）
 - 赤十字奉仕団研修会（参加人数：43名）、青少年赤十字研修会（参加人数：30名）
- ⑪祭壇貸付事業（貸付件数：7件）・補装具相談会（5回、相談件数：29件）
- ⑫スクールソーシャルワーカー活用事業（2名配置、活動件数：113件）
- ⑬福祉団体支援事業（障害者団体・母子寡婦福祉会・遺族会の事務局）

※ 各種活動内容の詳細は、裏面をご覧ください。

Ⅱ 平成24年度収支決算の状況（特別会計を含む。）

[収入合計：331,233,902円]

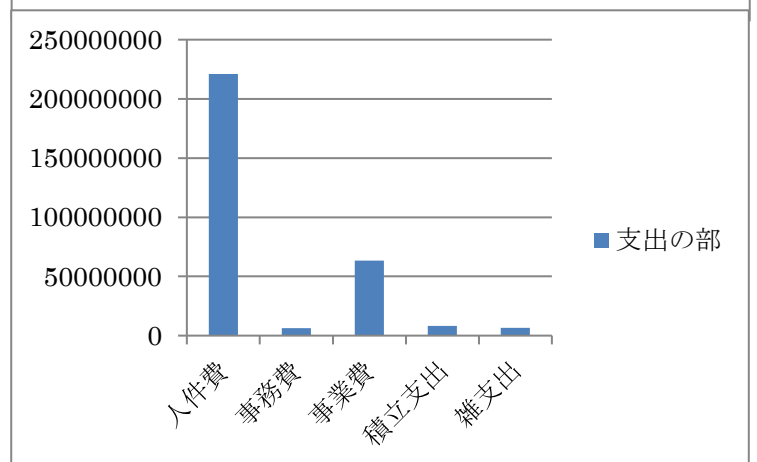
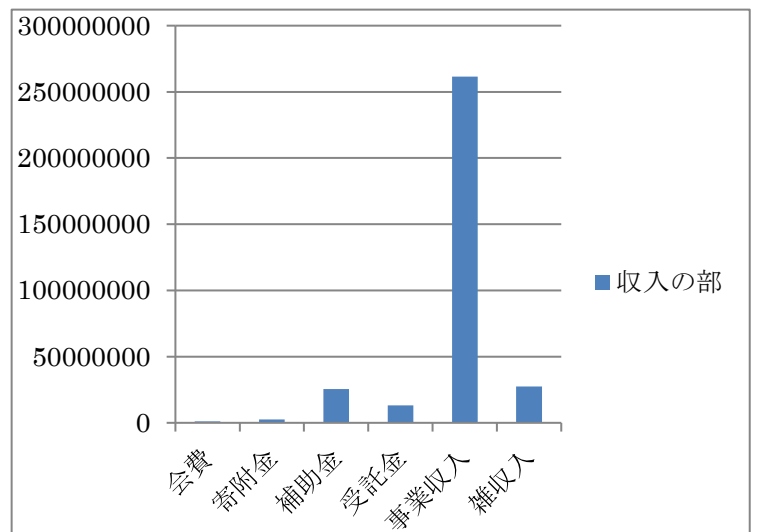
- ①会費 1,118,000円
(2,795世帯)
- ②寄附金 2,493,000円
- ③補助金 25,482,480円
- ④受託金 13,150,000円
- ⑤事業収入 261,600,341円
- ⑥雑収入 27,390,081円

収入では、介護保険サービス利用者の重度化と障害福祉サービス利用者の増加が顕著に表れています。また、地域福祉推進事業や相談支援事業等の新規事業も追加されています。

[支出合計：305,655,020円]

- ①人件費 220,895,430円
- ②事務費 6,402,399円
- ③事業費 63,481,778円
- ④積立支出 8,300,239円
- ⑤雑支出 6,575,174円

支出では、新規事業の追加や介護等サービス利用者の増加に伴う人件費と施設・設備の老朽化や昨年の台風被害の改善を図るための積立支出が増額となっています。今後は職員の世代交代に向けた人材養成と確保、サービスの質の維持・向上が大きな課題となります。



〔生活支援サービス事業 “あぐネット”〕



昨年7月から介護保険制度等の公的サービスでは、対応が困難な生活上のちょっとした課題を解決する仕組みとして、生活支援サービス事業“あぐネット”を開始しました。事前に登録された生活支援サポーター会員が利用会員宅を訪問し、台風後の片付けや室内の清掃、衣類の整理など、1時間程度の作業を行いました。会話も弾み、和気あいあいの中で、アツという間に、家も気分もスッキリしました。利用会員の登録は、随時行っています。

皆さんは、普段、自分自身のことや家族のこと、地域のことについて、あらためて考える機会がありますか。社協では、平成24年度から希望する字で住民座談会を開催しています。この座談会は字民なら誰でも参加でき、地域の良さや課題を再発見するとともに、より住みよい地域（字）づくりを目指して、気軽に意見を出し合う場です。

国頭字では、高齢者が気軽に集う場所がほしいという意見から、旧公民館を利用した「国頭ぴんぴんサロン」の立ち上げにつながりました。

〔住民座談会の開催〕



〔複数事業所連携事業〕



地域内の介護事業所や施設が連携し、研修を実施することで、人材の育成、定着を図ることを目的に開催いたしました。今回は、阿蘇市から3名の職員をお迎えして、住民に楽しみながら、地域の福祉課題について理解してもらう「福祉劇」の取り組みについて、ご指導いただきました。認知症をテーマにした福祉劇の実演では、素人とは思えないお婆さんの熱演に、大いに盛り上がりました。

本地域でも各事業所が連携した福祉劇団が設立され、職員も地域も元気になることを期待します。

〔収集ボランティア活動〕

誰でも気軽に参加できるボランティア活動として、平成9年度から推進してきました「使用済み切手」の収集活動。多くの事業所や個人の皆さまから寄せられた切手が一定量（2箱）に達しましたので、小さな親切運動鹿児島県本部に送付しました。集められた切手は、各種協会を通じて換金され、医療従事者や保健ボランティアの育成、発展途上国への医療品の提供などに役立てられます。

今後も使用済み切手の収集を継続して行っていくしますので、ご理解とご協力をお願いします。



〔シニアはつらつ教室修了式〕



平成20年度から元気な高齢者を対象に、認知症予防と脳の健康維持を目的に、毎週土曜日の朝会福祉センターで開催しています。教室の運営は、ボランティアである学習サポーターの支援を得て開催している「シニアはつらつ教室」も今回で、10期生の修了式（3月）を迎えました。

修了証書と学習サポーター手づくりの記念品の授与後、学習サポーターや学習者の演芸披露やバス遠足で、楽しい時間を過ごしました。あなたも気軽に楽しく“脳トレ”してみませんか。

〔九州北部豪雨災害職員派遣〕

昨年7月に九州北部地区を中心に発生した集中豪雨により、甚大な被害を受けた阿蘇市に災害支援のため、本会から職員を1名派遣しました。

阪神淡路大震災以降、全国的にボランティアに対する関心が高まり、以後の災害時には全国から多くのボランティアが駆け付けるようになりました。社協では、ボランティアのニーズ把握、受付、登録、派遣調整等を行う災害ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動支援を行うことで、早期復興に向けた重要な役割を果たしています。



〔“赤い羽根号”始動〕



平成18年からバスやタクシー等の利用困難者を対象に、外出の支援を行う福祉有償運送事業を九州運輸局からの許可を得て、実施しています。

この度、赤い羽根共同募金会から助成をいただき、車イスでも安心・安全に乗降が可能で、狭い道路もスムーズに移動ができる「赤い羽根号」を購入しました。事業の浸透に伴い、利用者も利用頻度も増加傾向にあり、活躍が期待されます。

当該事業のご利用には、町での登録が必要ですので、事前に本会又は役場にご相談下さい。

～お知らせ～

社会福祉協議会では、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、日常生活を支援する「福祉サービス利用支援事業」を実施しています。この事業の対象は、高齢者や障がい者で自らの判断能力に不安があり、福祉サービスの利用の手続きや日常生活の金銭の支払い等にお困りの方です。サービス内容は、福祉サービスの利用に関する相談、申込・解約の手続きや利用料金の支払い、年金等の手続き、公共料金の支払い、預貯金の出し入れ等のお手伝いをいたします。また、印鑑や預金通帳、証書などを安全な場所でお預かりいたします。

お問い合わせは、社協事務局（92-2299）までお気軽にご連絡下さい！